

さんのうやまみなみづかこふんぐん
三王山南塚古墳群3号墳発掘調査

—遺跡の範囲確認のための発掘調査—

【三王山南塚古墳群の概要】

三王山南塚古墳群は、田川と鬼怒川によって形成された三王山台地の南端に所在します。

これまでに、前方後方墳である三王山南塚古墳群1・2号墳、方墳である朝日観音1号墳の調査が行われています。

調査の際に、墳丘の下や古墳の周囲から弥生時代終わりの集落(三王遺跡)が見つかっており、三王遺跡の後に、古墳時代前期の三王山南塚古墳群が形成されたことがわかりました。

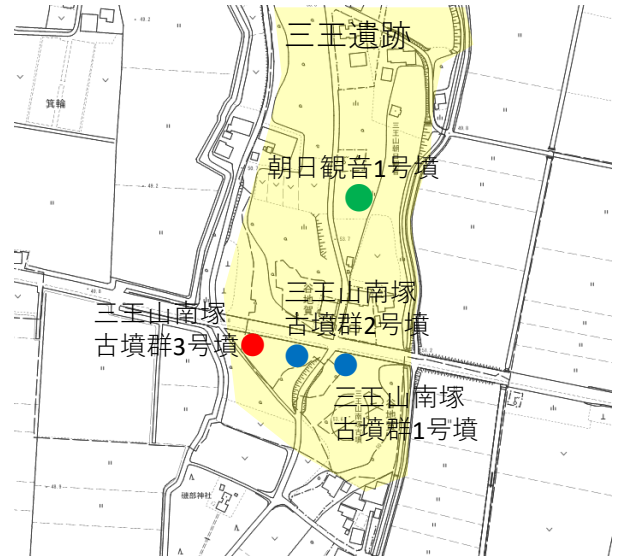
このうち、2号墳については、出土した土器の特徴などから、4世紀初めに造られた、県内最古級の古墳であることが明らかになっています。

【三王山南塚古墳群3号墳の調査概要】

本年度は、3号墳の南西隅部分の調査を行い、古墳の墳丘と古墳の周囲を区画する溝の一部を確認しました。溝の規模は、南北10m以上、東西5m以上、幅1m～2m、深さ1mであることが判明しました。

調査の結果、3号墳は前方後方墳または方墳と考えられ、3号墳・2号墳・1号墳の順に、3代に渡って造られた古墳である可能性があります。

3号墳の墳形や造られた年代については、今後の調査で明らかにしてまいります。



三王山南塚古墳群の位置

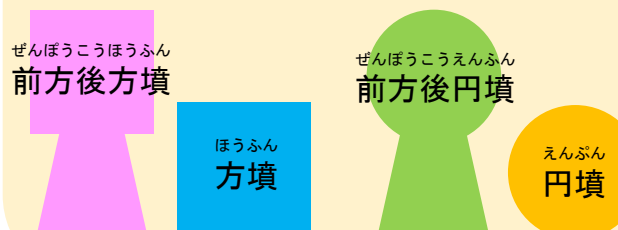
遺跡名	墳形	大きさ
三王山南塚古墳群1号墳	前方後方墳	全長46m
三王山南塚古墳群2号墳	前方後方墳	全長50m
三王山南塚古墳群3号墳	前方後方墳または方墳	不明
朝日観音1号墳	方墳	1辺15m

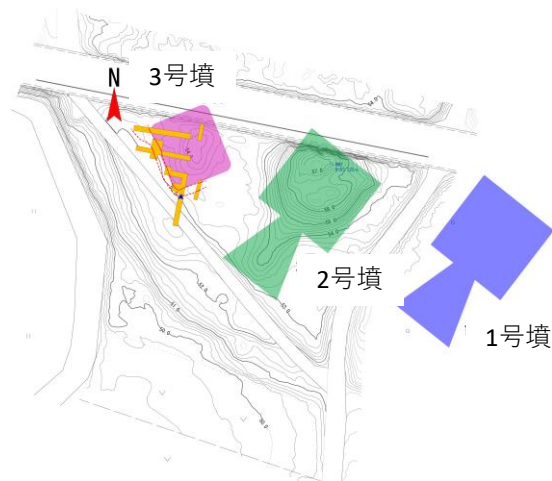
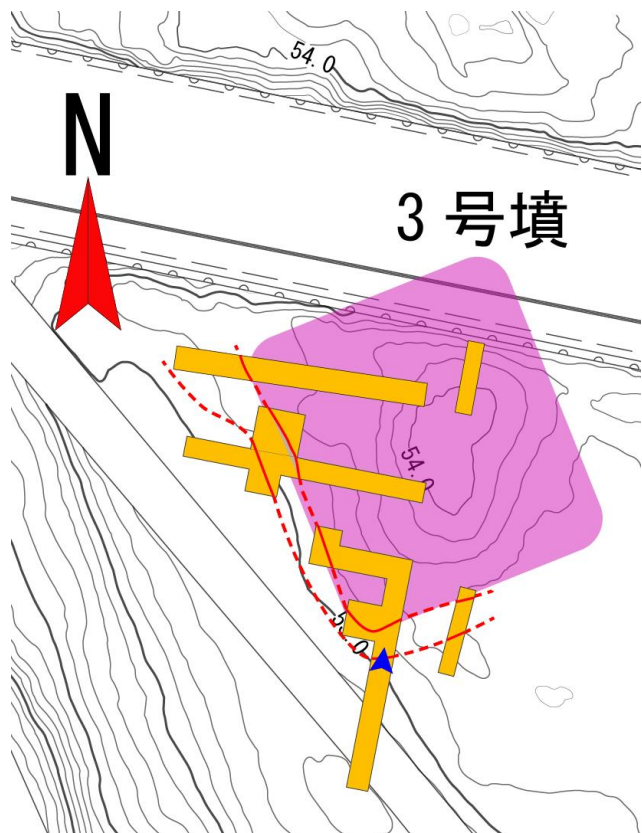
三王山南塚古墳群概要

古墳の形からわかること

古墳時代前期(4世紀)の栃木県では、前方後方墳や方墳が造られました。

古墳時代中期(5世紀)以降になって、前方後円墳や円墳が登場します。





三王山南塚古墳群3号墳位置図

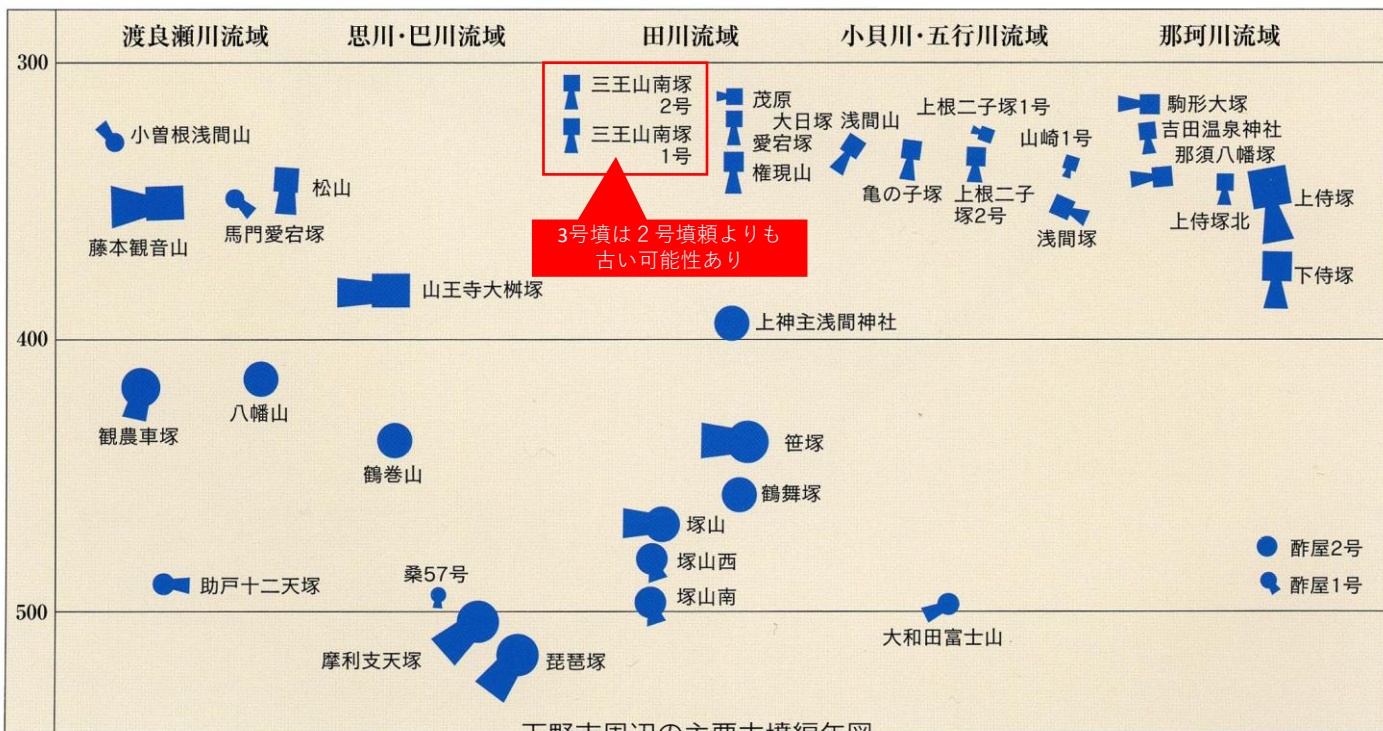


三王山南塚古墳群3号墳
周溝南西部（南から）

三王山南塚古墳群3号墳発掘調査測量図

※赤い線は、古墳の周溝の位置

※青い▲は、写真の位置



下野市周辺の主要古墳編年図

三王山南塚古墳群3号墳発掘調査説明資料 (2022.5)

編集・発行 下野市教育委員会事務局 文化財課

〒329-0492 栃木県下野市笹原26

TEL 0285-32-8919

E-mail bunkazai@city.shimotsuke.lg.jp



『下野市周辺の古墳群Ⅱ』下野市教育委員会より転用



東の飛鳥プロジェクト

下野市では歴史・文化を活用したまちづくりに取り組んでいます。